

衛生・栄養・パーソナルケアで健康をトータル的にサポートします！

健康のile

すまいる

<キーマンコラム>

医療・介護福祉施設における 環境整備の重要性

自治医科大学医学部 感染・免疫学講座 臨床感染症学部門 准教授
自治医科大学附属病院 感染制御部 部長

笹原 鉄平



<感染対策インタビュー>

特別養護老人ホーム杉の樹園

<施設で気になる感染症のはなし>

(感染対策上)いい湯かな？

<トピックス>

手荒れとハンドケア



医療・介護福祉施設における 環境整備の重要性

笹原 鉄平

自治医科大学医学部 感染・免疫学講座 臨床感染症学部門 准教授
自治医科大学附属病院 感染制御部 部長

医療・介護福祉施設における 感染対策の基本

医療・介護福祉施設における感染対策の基本として、最初に「感染経路」について学ぶと思います。特に施設内では「空気感染・飛沫感染・接触感染」の3つが重要であることは、皆さん十分にご承知でしょう。「接触感染」は、非常に多くの種類の微生物が運ばれる感染経路のため、常に注意を払う必要があります。接触感染をさらに詳しく見ていくと、微生物を運ぶ一番の原因は施設スタッフの「手指」であることから、手指をいつも清潔に保つ「手指衛生（手指消毒や手洗い）」が対策の基本となります。また最近では、施設内の様々な環境が微生物によって汚染されていることも接触感染の背景として重要視されるようになりました（図1）。施設スタッフや患者・利用者が頻回に触れる環境は「高頻度接触面（図2）」と呼ばれ、特に清潔に保つ必要があります。

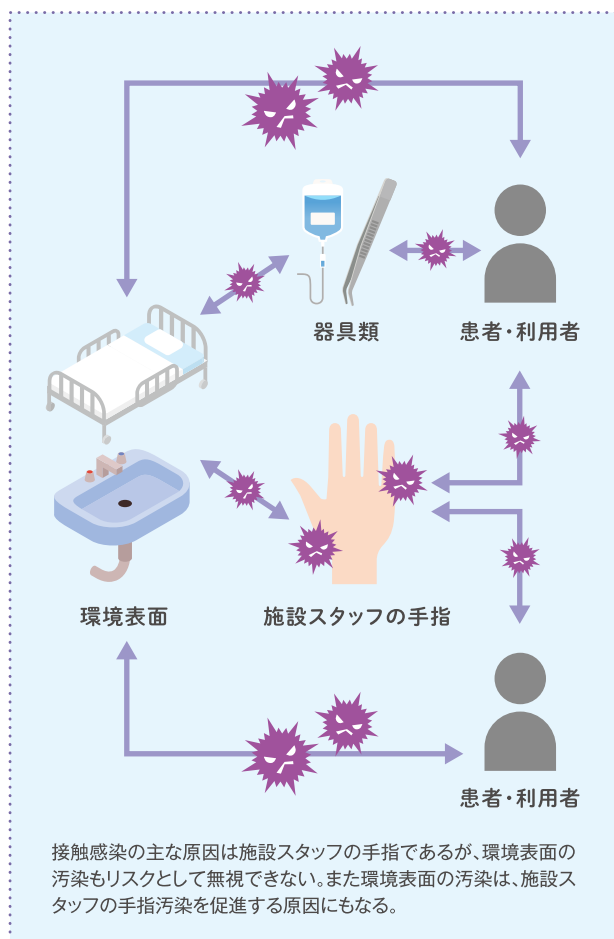


図1 様々な接触感染の経路

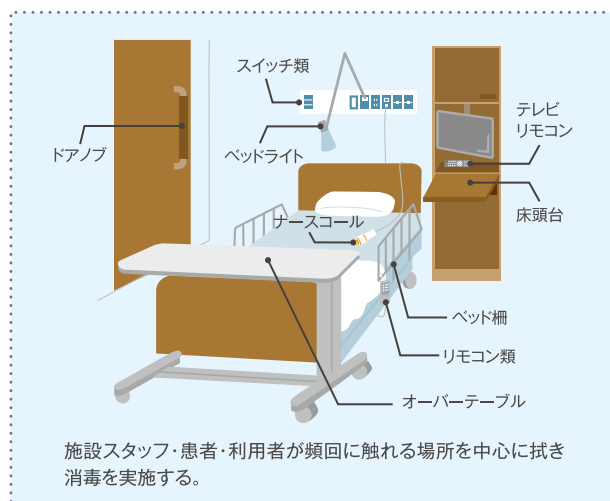


図2 施設の居室における高頻度接触面の例

（笹原鉄平ほか、入居型高齢者施設における日常的な入居者介助のための感染対策手順書 日常清掃・環境整備（第1版）より引用）

環境整備とは

施設内の環境には、大まかに「空気・水・環境表面・植物や動物」があります。空気・水の管理もとても重要ですが、今回は「環境表面」に焦点を当てていきます。環境表面には、壁・床・天井・水回りなどの構造・設備や、ベッド・椅子・リネン・聴診器などの家具・物品類など、あらゆるものが含まれます。これらの環境表面を清潔に保つための対策が「環境整備」です。環境表面を清潔に保つといっても、環境表面のすべてを消毒するような行為はコストもかかりますし、感染対策上も無駄が多いといえるため、効率的な環境整備が必須です。施設内の環境表面に対する適切な環境整備とは、筆者の理解では図3のような構造になっています。

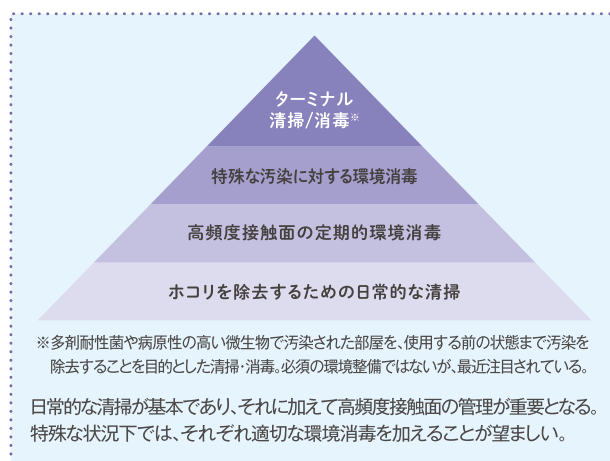


図3 医療・介護福祉施設内の環境表面に対する環境整備の構造

環境整備における清掃の重要性

環境整備の基本は清掃です。一般的な清掃では、実施後の見た目の美しさを重視しますが、施設における清掃で重要なのは「ホコリ(埃)を除去する」ことです。微生物は自分で遠距離を移動できませんが、ホコリに付着して施設内に拡がります。このため壁や天井、棚の上などの高所は化学モップなどを用いてホコリを除去するようにします。ベッド周囲やドアノブ、手すりなどの手が届く範囲の環境表面は拭き清掃、床はモップを用いた湿式清掃を行います。

清掃においては「微生物を拡げない」工夫も必要です。特にモップ清掃、拭き清掃では、表1のようなポイントに注意して下さい。一般的な清掃では、モップやクロス(雑巾)をバケツ内で洗いながら何度も使用する場合が多いと思いますが、施設における清掃ではモップやクロスは汚れたら清潔な新しいものに交換しながら汚染の拡散を防ぎましょう(オフレーション法と呼ばれます)。医療行為を行うエリアは最初に清掃する、トイレなどは最後に清掃するなど、清掃場所の順序は汚染度合いを踏まえて工夫することも大切です。除菌剤を含んだ施設清掃用の洗剤も数多く発売されているため、上手に活用しましょう。

表1 施設における湿式清掃・拭き清掃のポイント

- 1 明らかな汚れがある場合、事前にペーパーなどで十分に除去する
- 2 汚れたモップ・クロスは繰り返し使用しない(オフレーション法)
- 3 清掃する場所は、汚染の少ないエリアから汚染の多いエリアの順に(医療行為を行うエリアは最初に、トイレなどは最後に実施する)
- 4 清掃は高い部位から低い部位、奥側から手前に一方方向に

高頻度接触面の定期的環境消毒

上述したように、環境表面のうち頻回に手指で触れる「高頻度接触面」は、特に清潔に保つ必要があります。最近では、この目的のために1日1回程度、高頻度接触面の環境消毒を行うようになっていきます。過去には環境消毒の方法としてアルコール消毒薬などをスプレーで噴射して拭き取ったりしていましたが、現在では吸引毒性のある消毒薬の噴霧は避けるべきとされ、消毒薬を含有した使い捨ての「環境清拭クロス」の利用が一般的です。洗浄剤を配合して汚れも落とせるようになっている製品では、拭き清掃と消毒が一度に実施できて非常に便利です。様々な特徴の製品が多数発売されていますが、「どの環境清拭クロスが良いかが分かりづらい」という意見もよく耳にします。これについては、拙著「ココが知りたい 清拭クロスを使った清掃・消毒: 医療・介護福祉現場における環境消毒のコツ(ヴァンメディカル)」をご参照頂けたらと思います。日常的な環境消毒には、様々な素材に対して傷みが起きにくいこと、安価であることなどから、第四級アンモニウム塩やアルコール系消毒薬を含んだクロスが使用されることが多いように思います。

環境清拭クロスを使用する際にも、表1で示した「汚染を拡げない」工夫が必要です。すなわちクロスは適切に新しいものに交換し

ながら、きれいな部位から汚染されている部位に向かって一方方向に拭く、という点に注意して下さい。

特殊な汚染に対する環境消毒

環境が排泄物・血液・体液によって汚染された場合には、特別な処理が必要となります。手袋などの個人防護具を着用して、これらの汚れをペーパー等で拭き取った後に、過酢酸や次亜塩素酸ナトリウム(またはペルオキソー硫酸水素カリウム)を含む環境清拭クロスで拭き取ります。なければ0.5-1.0^W/v%(5,000-10,000 ppm)の次亜塩素酸ナトリウム液を接触させ、ペーパーで拭き取ることで対応できます。

下痢や嘔吐がある患者・利用者さんの周囲の環境は、ノロウイルスをはじめとした消化管感染症を起こす微生物に汚染されている可能性があります。このため、高頻度接触面の環境整備には、これらの微生物に有効な過酢酸や次亜塩素酸ナトリウム(またはペルオキソー硫酸水素カリウム)を含む環境清拭クロスを使用することが望ましいでしょう。これらの環境清拭クロスは、ノロウイルス感染症が施設内で流行している時期の(特に共用トイレ等における)日常的環境消毒にも有用です。

ターミナル清掃・ターミナル消毒

多剤耐性菌や病原性の高い微生物に汚染された部屋では、次に使用する患者・利用者さんがそれらの微生物にさらされるリスクが生じます。このため、これらの汚染があると考えられる部屋では、患者・利用者さんの退室後に環境表面を通常よりも入念に清掃・消毒するという方法がとられ、これをターミナル清掃・ターミナル消毒と呼んでいます。この場合には、過酢酸や次亜塩素酸ナトリウム(またはペルオキソー硫酸水素カリウム)を含む環境清拭クロスや、紫外線照射装置などの非接触型環境消毒法(ノータッチ・メソッド)を使用する施設もあります。

まとめ

- ✓ 手指衛生と共に環境整備を行うことによって、施設内の感染伝播を減らすことができる。
- ✓ 環境整備の基本は、適切な清掃である。
- ✓ 高頻度接触面に対する環境消毒を加えることによって、環境整備の効果をより高めることができる。
- ✓ 状況や場面によって、環境消毒に使用する消毒薬・除菌剤を使い分けることが望ましい。



特別養護老人ホーム杉の樹園

特別養護老人ホーム杉の樹園は、地域の高齢者が安心して過ごす場を提供したいという思いから、地域ではじめての高齢者施設として平成4年に開設されました。

そのようなご施設での感染対策の取り組みやそれぞれの立場からの思いを、施設の感染対策委員の皆様と伺いました。(取材日：2022年11月17日)

感染対策
インタビュー



感染対策はどのようにしていますか？……

手指衛生

馬籠さん

入居者がいるフロアでは、全ての手洗い場には石けんとアルコール手指消毒剤、全ての居室前や職員が頻繁に行き来する階段下の廊下などの各所にアルコール手指消毒剤を設置しており、その多くを、接触感染リスクを考慮して自動ディスペンサーにしています。これらは動線を考えて設置しているため、職員は必要時にすぐ手指衛生を行うことができますし、入居者の自主的な手指衛生にも繋がっています。また職員は、入職時と年に1回の感染対策研修で、ブラックライトを用いて手洗い手技を確認しています。



看護部長
馬籠さん



環境整備

榎本さん

法人理念の「快適・安心・活力」にも通じますが、入居者に清潔で快適に過ごしてほしいと考え、高齢者施設特有の臭いが発生しないよう清潔維持を徹底しています。清掃専門の職員3名および委託業者で毎日トイレや居室等全般を清掃しています。またドアノブや手すり等のよく触る箇所は1日2回消毒しています。



統括管理者
榎本さん



普段の食事について教えてください……

鈴木さん

こまめに入居者に声をかけて食べたいものをヒアリングしたり、職員を通じて入居者のリクエストを聞いたりして、それを献立に盛り込むなど、食事面でも入居者に楽しんでいただけるように工夫しています。また、きめ細やかに入居者の栄養管理をするため、普段からの現場の職員との密なコミュニケーションや、入居者の食事介助を実施することで、食事が減少している入居者にはなるべく早めに介入するようにしています。



管理栄養士
鈴木さん

新型コロナウイルス禍での感染対策や変化したことについて教えてください……

馬籠さん

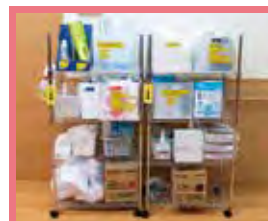
2021年11月から2～3か月間、施設内で全職員対象の個人防護具(以下、PPE)に関する研修を行い、着脱の練習や、新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)感染症患者発生時に必要なPPEを着た状態で普段のケアを行う体験をしました。PPEを着用しながらのケアがどのくらい大変なのかを知ることができ、感染源を持ち込まない・広げないようにしようという意識付けにもなりました。

倉持さん

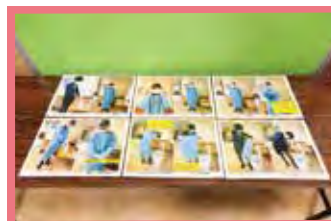
PPE着脱演習として、PPEの外部研修に参加した6名の職員をリーダーとした班を編成し、班ごとに1人ずつ着脱を確認したところ、「この方法だと脱ぐ際に汚染してしまう」、「ガウンは背中が開くため気を付けな」といえない」といった意見が出てきました。そこでより良い手技を皆で考え、各班で話し合った意見をリーダーがまとめ、PPE着脱マニュアルを更新しました。PPEを着た状態で普段のケアを行う体験では、個人に合うPPEのサイズが確認でき、またフェイスシールドを着用すると視界が狭まったり曇ったりして入居者にぶつかることもある、動きづらい、入居者がPPEを着用している職員を嫌がる等の問題点を把握することもできました。研修を実施していたことで、2022年4月にクラスターが発生した際も職員はスムーズにPPE着脱ができ、また事前に問題点を把握しその対策を行っていたため、PPEを着ながらのケアも適切に行えたと思います。その他の取り組みとして、職員には勤務時に着用するマスクは職員個人で準備してもらっているため、正職員にはマスク手当を支給し、パートや勤務時間の短い職員には現物支給として定期的にマスクを配布しています。新型コロナ対策上マスクは必要不可欠ですが、価格が高騰した時期もあったため、購入に負担を感じることを懸念し、新型コロナ発生当初から続けています。また、新型コロナ患者が発生した際にはすぐ対応できるよう、必要なPPEなどの物品をまとめてワゴンにセットして備えています。



施設長
倉持さん



▲ PPEなどの物品をセットしたワゴン



▲ PPE着脱マニュアル

榎本さん

職員は密にならないよう、昼食を車の中でとったり、施設内で食べる場合も時間や場所を割り振ったりして個別でとるようにしています。クラスター発生時には、技能実習生以外は車通勤のため、職員は全員車で昼食をとるようにしました。

入澤さん

入居者にマスク着用や手指衛生をするようお声がけしました。手指衛生では、寒くて手が冷たくなる時等はやりたくないと言われることもありましたが、そのような時でも手指衛生の重要性を伝えて実施してもらいました。新型コロナ禍に入って大きく変わったのは面会や行事、外出等ができなくなったことです。面会の代わりに職員が毎月、入居者の施設のご様子を書いた手紙と写真をご家族に送っています。また行事や外出ができない代わりに、お寿司やケーキ、パンのバイキング等を開催しました。施設内でも楽しんでいただけるようなイベントを開催することで、入居者の心のケアに繋がればと考えています。



介護長
入澤さん

感染対策で難しいと感じることはありますか？

鈴木さん

クラスターが発生した際、厨房に感染を持ち込まないように現場との接触を避けなければならない、栄養管理がすぐにできないということがありました。収束後に久しぶりにお会いしたら痩せている入居者がおり、早期に栄養改善が出来なかったことにもどかしさを感じました。感染対策も大事ですが、クラスターによる行動制限で入居者の体力や食欲が落ちている時こそ栄養管理が大事であったと感じています。

入澤さん

入居者の中には、マスクを着けていると苦しいから取りたいという方や、職員が着用しているマスクを取って投げってしまう方もいて、マスク着用の理解を得るのが難しいと感じました。またクラスターが発生した際には、ゾーニングや対応方法が事前のシミュレーション通りにならないことも多く、物品の配置等シミュレーションできていなかった部分もあったため戸惑いました。

榎本さん

感染拡大を抑えるためには、感染症に関する情報を全職員に漏れなく連絡する必要がありますが、正職員やパート等様々な勤務形態がある中で全職員への情報伝達が難しいと思っています。常に様々な職員に直接声をかけ、伝わったかの確認と情報伝達が完了したことに関して倉持施設長へフィードバックをするようにしています。また、新入職員には入職時に体調不良時の対応も確認しています。

例えば自分自身が体調不良の時だけでなく、同居家族が体調不良を訴えた時にも、まずは上司や施設長、看護部に電話をして対応を相談するよう伝えています。以前に家族が発熱したもののその時点では自身に症状がなかったことから出勤した職員が、後にインフルエンザだと判明して施設内でインフルエンザ感染が広がったことがあったため教訓にしています。

馬籠さん

クラスター発生時に感染者以外の入居者も行動制限し、集まらないように各居室で生活してもらいました。しかし、行動制限中にこれまで歩けた入居者が車いすになったり、食欲が落ちたり、認知症が進んでしまうということがあり、制限を解除してからも健康状態の回復に時間がかかってしまいました。

倉持さん

感染者だけ行動制限していた他施設ではクラスターの収束に時間がかかったと聞くこともありましたが、収束が長引くと職員や入居者の負担になるため、感染者が出てから短期間で収束させようと、今回のクラスター発生時には入居者全員の行動制限を行いました。それにより2週間程度での早期収束が叶いましたが、入居者の健康状態への影響を考えると、今後クラスターが発生した際も同じように制限するべきか判断に迷っています。また、新型コロナ禍で、職員が各自責任感を持って感染に気を付けて生活してくれていると思いますが、先が見えない状況でどこまで我慢を強いるのかを考えると心が痛みますし、負荷をかけている状況で職員の心のケアをどうやっていけばいいのか頭を悩ませています。

最後に

倉持さん

新型コロナ禍になって、改めて人とのコミュニケーションが大切だと感じました。今後新型コロナを含め感染症流行が落ち着いた際には、入居者とご家族がコミュニケーションをとれる場を設け、散歩等外に出る行事の企画も増やしたいです。あわせて、見守りセンサーや職員間の連携がスムーズに進むツール等でIT化を進め、職員の負担を減らしたいと考えています。新型コロナ禍でまだまだ先が見えず、それぞれのご施設で色々辛いこともあると思いますが、介護職員や他の職員のみならずもう一丸となって頑張っていきたいと思っています。



サラヤ商品の使用感をお聞きました

アルペット手指消毒用α／弱酸性ハンドソープ



新型コロナ禍で手指衛生機会が増えましたが、手荒れをしたと聞かないため良いなと思っています。

サラヤ サージカルマスク



サイズがちょうど良くてずれにくいですし、ゴムひも部分で耳も痛くなりやすいです。

洗たく用洗剤超濃縮タイプ



以前は失禁した方の洗たく物が洗たく後も匂うことがありましたが、これを使用してからは匂いません。ボトルも計量せずプッシュで使用でき、使用量も過剰にならないため気に入っています。



特別養護老人ホーム杉の樹園

〒321-3404 栃木県芳賀郡市貝町続谷736
TEL:0285-68-4111 <http://suginokien.com/>

特別養護老人ホーム：56床
地域密着型ユニット：20床
ショートステイ：4床

手芸として入居者と一緒で作っています。
ご家族にもプレゼントして喜ばれています！



施設で気になる

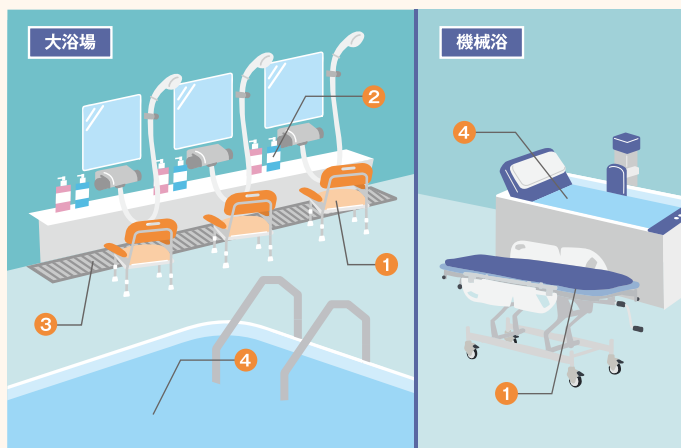
感染症のはなし

(感染対策上)
いい湯かな？

福祉施設の浴室は、多くの人が利用するため長時間湿潤環境になりやすく、グラム陰性菌やカビが増殖しやすい環境です^{1,2)}。さらに体を洗う際に排出された角質や皮脂などが残留し、その汚れや水分を微生物が栄養にして温床化する可能性があります。これらの微生物が接触や水の跳ね返りにより粘膜や創部から侵入すると、高齢者などの抵抗力が弱い人は感染症を引き起こすことがあります。福祉施設では、グラム陰性菌であるレジオネラ属菌に汚染された浴槽水が感染源となった入所者死亡事例も発生しています³⁾。今回は、浴室の衛生・感染管理について振り返りましょう。

浴室チェックポイント！

こんなところが感染リスクに…



※イメージ

① 椅子・ストレッチャー

浴用椅子の裏面は、水が流れ込み乾燥が難しく、さらに目視しにくいので、清掃が行き届きづらく汚れやカビが発生しやすいです²⁾。また浴用椅子/車椅子やストレッチャーなどの入浴介護用品に使用されることの多いスポンジ様材質は多孔性構造で、洗浄・消毒が十分に行き届きにくく、微生物が増殖しやすいとされています^{1,2,4)}。

② ポディソープ・シャンプー

継ぎ足すことにより、グラム陰性菌が増殖する可能性があります¹⁾。

③ 排水溝

毛髪や石けんカス、垢などがたまりやすく、また清掃が行き届きにくく乾燥しづらいため、微生物の増殖や臭気の原因になります²⁾。

④ 浴槽

表面が凹凸した素材や構造の浴槽は洗浄・消毒が難しく、ぬめり*の形成やレジオネラ属菌の増殖が起きやすいとされています⁴⁾。また、福祉施設の浴槽は、主に非循環式と循環式の2種類に分けられます³⁾。非循環式浴槽は、浴槽水を循環させず入浴後は完全に排水する方式で、濾過器や加温装置はなく、比較的小さな浴槽や機械浴槽に多いとされています^{1,3)}。循環式浴槽は浴槽水をポンプで循環させながら濾過や加温(保温)をする方式で、運転中は常に入浴に適した温度が保たれます。循環式浴槽は濾過器や加温装置などへ浴槽水を送るため配管が長くなり、濾過器や配管の内壁等にレジオネラ属菌などの微生物がぬめりを形成しやすいことから注意が必要です^{1,3,5)}。東京都の調査では、特別養護老人ホームの循環式入浴設備のうち6割以上からレジオネラ属菌が検出されています³⁾。

※バイオフィルム。これにより、微生物は消毒剤から保護され増殖しやすくなる^{4,6)}。

衛生・感染管理方法

浴室の衛生・感染管理方法を一部ご紹介します。自施設の浴室の特徴を踏まえながら、以下のような管理を心掛けましょう。

● 日常の環境整備

毎日、浴室内の床や壁などの環境表面を洗浄剤と清掃用具を用いて清掃します^{1,5,6)}。石鹸の油脂成分は水道水の金属成分や皮脂と反応して付着し、時間が経つほど除去が困難になるため、こまめな清掃を心掛けます²⁾。微生物の増殖や定着を防ぐため、清掃時はぬめりを残さないよう注意します^{3,4,6)}。日常清掃でのぬめりの除去には、洗浄剤を用いたブラシ洗浄が効果的であったとの報告があります⁴⁾。洗浄剤は、消毒を兼ねた洗浄が行える両性界面活性剤が勧められます²⁾。排水溝は最終の入浴後に汚れを取り除き、清掃します¹⁾。微生物の増殖を予防するため、浴室の定期的な換気・乾燥も重要です。換気が難しい場合は、清掃後に乾燥したタオルなどを使用し水気を拭き取ります²⁾。

循環式浴槽は、濾過系統に設置されている集毛器を毎日清掃・消毒します^{3,5)}。濾過器は週1回以上逆洗浄して汚れを排出するとともに、循環配管を含めて消毒します。

● 浴槽水の管理

浴槽水は塩素系薬剤で消毒し、浴槽水中の遊離残留塩素濃度を通常0.4mg/L程度に保ちます^{3,5)}。浴槽水は、常時満水状態にし、新しいお湯で水面に浮かんだゴミが排水されるよう努めます。非循環式浴槽は毎日、循環式浴槽は原則毎日で最低でも週1回は換水(完全に湯を落とし、清掃した上で浴槽水を入れ換える)を行います^{3,6)}。

● 物品管理

ボディソープ・シャンプーは使い捨てにするか、詰め替える場合は容器を洗浄・乾燥させ、適切に管理しましょう。浴用椅子/車椅子やストレッチャーなどの入浴介護用品はスポンジ様材質を避けることが望ましく^{1,2)}、使用後は洗浄剤などで洗浄・消毒し乾燥させます¹⁾。浴室に設置する物品は必要最低限とし、清掃や乾燥の妨げにならないようにしましょう²⁾。

参考文献

- 1) 渋谷 智恵 編. INFECTION CONTROL 2018年夏季増刊 環境整備ICTマニュアル. メディカ出版. 大阪. 2018.
- 2) 市江 希. 浴室&シャワー室. INFECTION CONTROL 2020; 29(12): 35-9.
- 3) 東京都福祉保健局. 社会福祉施設管理者のための環境衛生設備自主管理マニュアル. 2005年2月. <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kankyo/eisei/yomimono/shakaifukushishisetu/shakaifukushishisetu-manyuuru.html>. 2022年11月9日現在.
- 4) 厚生労働省. 入浴施設の衛生管理の手引き. 2022年5月13日. <https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000961757.pdf>. 2022年11月9日現在.
- 5) 厚生省生活衛生局長. 公衆浴場における衛生等管理要領等について. 生食発1210第1号. 2020年12月10日. <https://www.mhlw.go.jp/content/000704519.pdf>. 2022年11月9日現在.
- 6) 厚生労働省老健局. 介護現場における感染対策の手引き 第2版. 2021年3月. <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf>. 2022年11月9日現在.



PRODUCTS NEWS 製品情報

\\ ご施設に環境用除菌クロスを導入してみませんか? //

清潔

サラヤでは、豊富なラインナップを取り揃えています!

簡便



サラヤ ジアクロス

サラヤ
エタノールクロス80サラヤ 環境清拭クロス
PREMIUM CLEANING

サラヤ 環境清拭クロス



サラヤサイド除菌クロス

商品情報はこちら

<https://fukushi.saraya.com/products/kankyojokincloth/>


PRIME
BARRIER
プライムバリアローション

手肌にうるおいを
保湿×保護のダブルケア

PRIME
BARRIER
プライムバリアヴェール

なめらかな塗り心地でさらっと保湿

さらっと感覚
保湿メインうるおい持続で繰り返しの
手洗いからも手肌をバリアしっとり感覚
保護メイン

商品情報はこちら

<https://fukushi.saraya.com/products/handcare/>


読者
アンケートを
実施します!

読者アンケートにご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスして読者アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で10名様に、
弊社製品「肌ソフトマスク 30枚入(純日本製)」1個をプレゼントいたします!

締切 2023年4月28日(金)17:00

アンケート回答ページパスワード

kensuma28

<https://forms.gle/8XYBELQ6jyQ1zuns8>
是非、皆様のご意見
をお聞かせください!こだわりの
機能と着ごこちマスク
肌荒れを
考えた

素肌いたわる
肌ソフト



純日本製

編集部からのお願い

福祉施設様向けの情報誌「健康すまいる」いかがでしたか?
是非、皆様のご意見をお聞かせください。

サラヤ株式会社
学術部

e-mail gakujutsu@saraya.com

TEL:06-4706-3938

(受付時間:土日祝を除く平日9:00~18:00)

Web版 「健康すまいる」

これまでお届けした本情報誌「健康すまいる」のバックナンバーは、
インターネットからご覧いただけます。

サラヤ 健康すまいる 検索

<https://fukushi.saraya.com/useful-information/kenko-smile/>

編集・発行

サラヤ株式会社

本社:〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8

TEL:06-6797-2525

<https://www.saraya.com/>

65-0016-00-M